

有識者会議の議論の前提について

1. 「人生の最終段階における意思決定支援」の定義について

亡くなる直前（終末期）の過ごし方についての意思決定ではなく、どのような医療・ケアを受けたいか、どのように生きるのかという「人生の生き様」についての意思決定を支援するもの。

2. 有識者会議の目的について

自分らしく生き抜くことができるよう、人生の最終段階を視野に入れ、どのように生きたいか考える機会を提供し、本人の意思決定を支援すること。

ただし、意思決定を強要するものではなく、意思決定をしないという選択も尊重するものである。

3. 有識者会議における「意思決定支援」について

行政、医療・介護関係者が協力して、市民自らが人生の最終段階にどのように生きたいかを考える機会を提供するためのサポート体制を整えとともに、ご本人、ご家族、医療・介護関係者のコミュニケーションを促進すること。

4. 有識者会議の進め方について

第1回有識者会議（令和元年12月25日開催）

- ・ 人生の最終段階における医療に関する意識調査結果と神戸市の現状
- ・ 人生の最終段階に本人が希望する医療・ケアを受けるための意思決定支援のあり方（「人生の最終段階における意思決定支援」の目的と課題、有識者会議で検討いただきたい論点（案））
- ・ 検討のスケジュール（案）

第2回有識者会議（令和2年7月1日開催）

- ・ 論点① 人生の最終段階における意思決定支援の課題について
- ・ 論点② 神戸市におけるACPの導入について

第3回有識者会議（令和2年9月2日開催）

- ・ 論点③ 普及啓発の方法について

第4回有識者会議（令和2年12月9日開催）

- ・ 論点④ 意思決定内容の表明ツールについて

第5回有識者会議（令和3年2月～3月開催予定）

- ・ まとめ